新日軽

取付説明書番号 ME-2172

改-1

シャッターゲートスリム 施工説明書（シャッター工事専用）

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様にお渡しください。

この施工説明書は、シャッター工事専用の説明書になります。必ずシャッター工事担当の方にお渡しください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

もくじ

梱包内容一覧 …… 2
シャッター取付けの前に …… 2
構成図 …… 3
納まり・断面図 …… 4
1.シャッター取付け …… 5
1−1 ケース部材の取外し …… 5
1−2 巻取シャフトの取付け …… 5
1−3 シャッターカーテンの取付け …… 6
1−4 ガイドレールの取付け …… 6
1−5 配線の概要 …… 7
1−6 光電スイッチの取付け …… 8
1−7 電源・光電管の接続 …… 8
1−8 アンテナ線の取付け …… 9
1−9 クラッチ開放・復帰ワイヤーの取付け …… 9
1−10 シャッターの調整 …… 10
1−11 ケース類の取付け …… 10
1−12 コーキングの処理 …… 11
施工後の確認 …… 12

梱包内容一覧

シャッター部（別途手配品）

別手配のシャッター営業所からの搬入部材

（下記の部品については、別途手配となります。）

名　称		数量
上廻り組立（開閉機含む）		1
スラット梱包		2〜3
座板組立		1
部品箱	光電管取付セット	1
	吊元	3
	ホイールカバー	3
	吊元固定ボルト	3
	シャフト固定ボルト・ナット	2

※ブラケット・補強材・まぐさ類・アルミケース板・ガイドレールを除くシャッター部材はシャッターゲートスリム用製作指示書にてシャッター営業所手配となります。必ずシャッターゲートスリム専用製作指示書を使用してください。

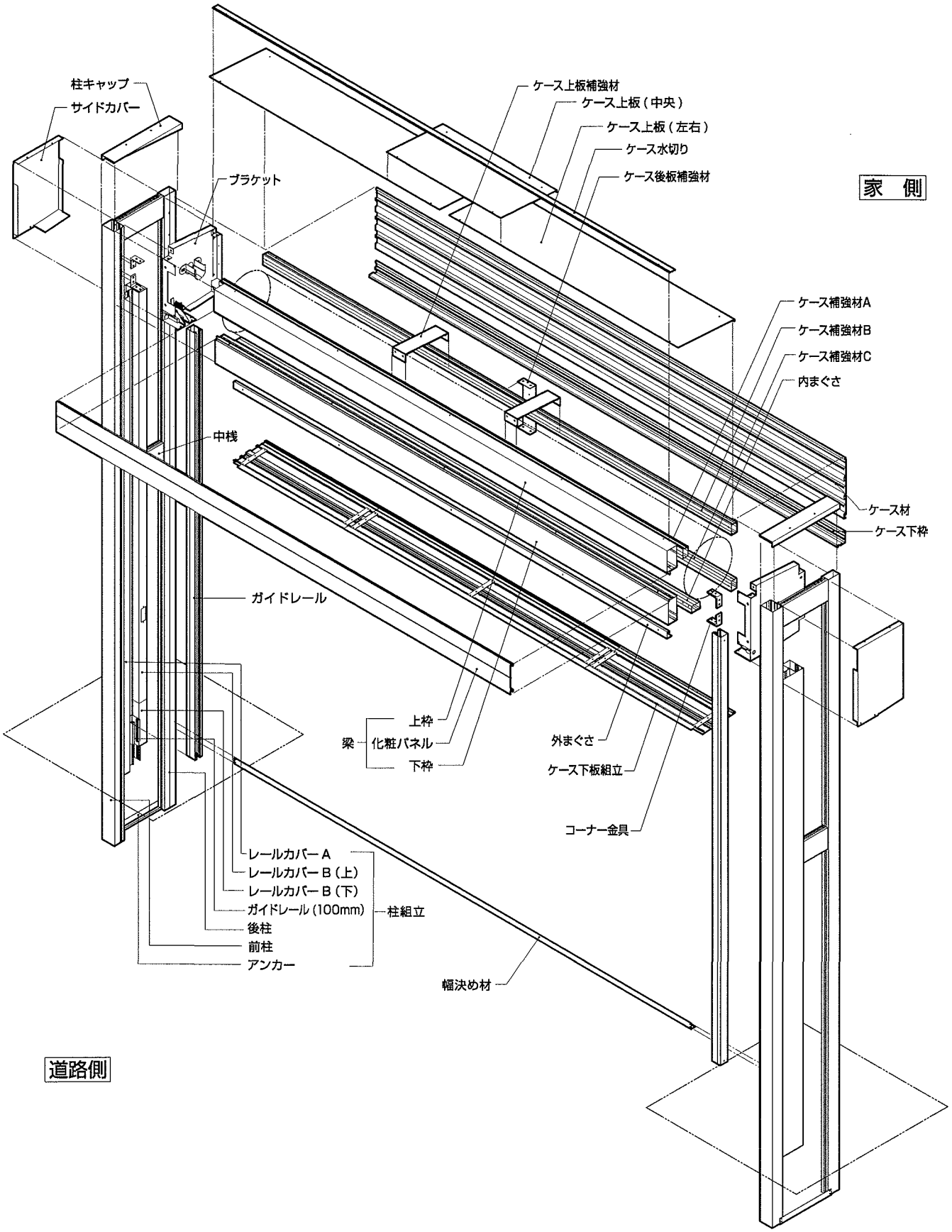
シャッター取付けの前に

●製品に傷があるか確認を行ってください。
●もし傷がある場合は、傷の程度と場所を下記に記入し、販売店・工事店様に連絡してください。

傷のある場所	傷の程度

構成図

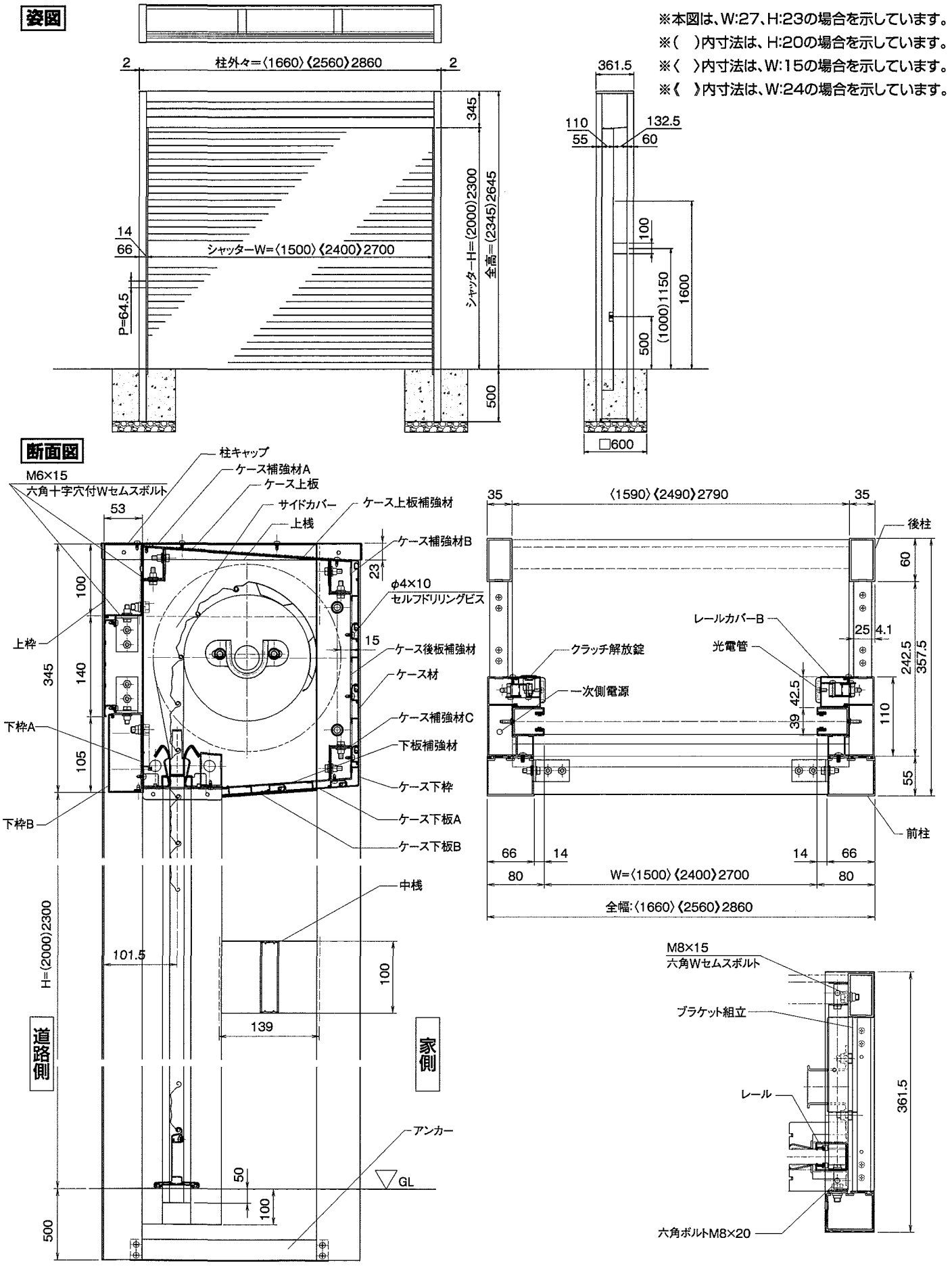
※本図は、W:27、H:23の場合を示しています。



納まり図・断面図

●施工前に、設置場所に納まるか、巾や高さ寸法を確認してください。

※本図は、W:27、H:23の場合を示しています。
※(　)内寸法は、H:20の場合を示しています。
※〈　〉内寸法は、W:15の場合を示しています。
※《　》内寸法は、W:24の場合を示しています。



1 シャッター取付け

●シャッターの取付けについては、新日軽営業所にご依頼ください。

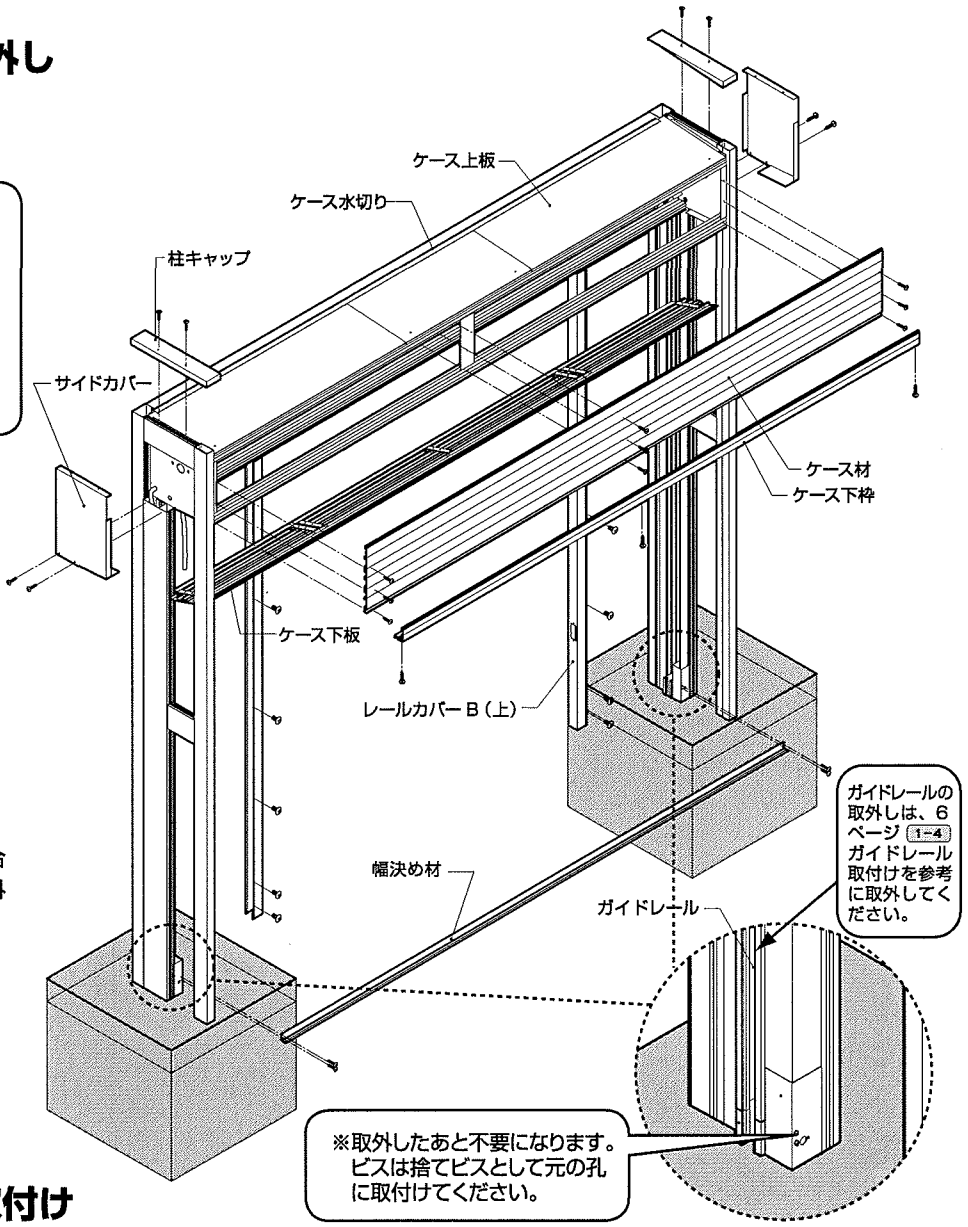
1−1 ケース部材の取外し

シャッターを取付ける前に、下記①〜⑧を取外してください。

●取外したビスは、後で取付けるときに使用するので、無くさないようにしてください。
●シャッター取付け後、外した部材を元に戻してください。
ただし、幅決め材は不要です。ねじは捨てビスとして元の穴に取付けてください。

①柱キャップの取外し
②サイドカバーの取外し
③ケース下板の取外し
④ケース下枠の取外し
⑤ケース材の取外し
⑥レールカバーB（上）の取外し
⑦幅決め材の取外し
⑧ガイドレールの取外し

※吊り元の固定にケース上板がじゃまな場合は、**ケース水切り→ケース上板**の順に取外してください。



1−2 巻取シャフトの取付け

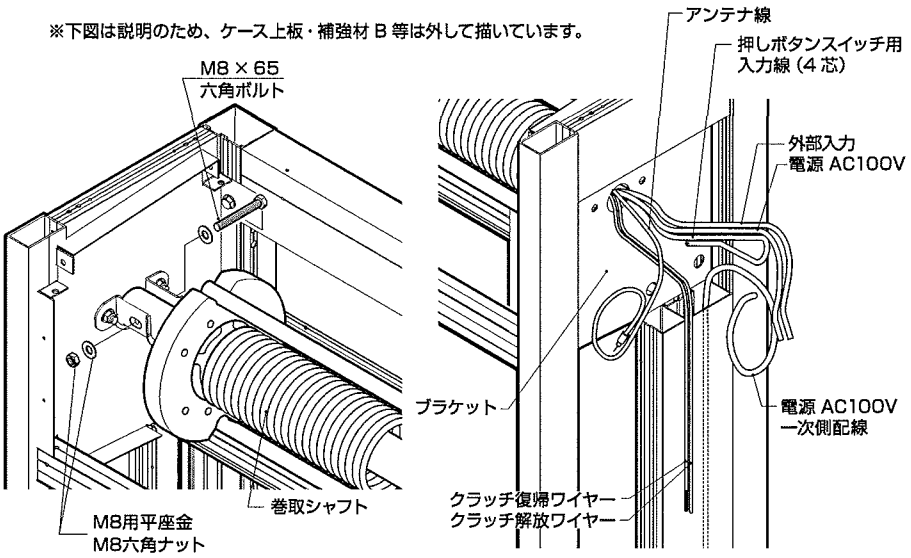
取付詳細については「サンオート取付説明書」を参照してください。

①内まぐさを取外してください。
②道路側から見てケーブルが左側になるよう軸受けにのせます。
③開閉機の制御盤を下向きにして、巻取シャフトを軸受けにのせてM8六角ボルトで固定します。
④ケーブル類は軸受け部穴からブラケット外側に出してください。
⑤内まぐさを取付けてください。

⚠注意

●シャッターカーテンを取付けるまでは、ホイール取付けピンは絶対に抜かないでください。
ホイールが激しく回転して大変危険です。

※下図は説明のため、ケース上板・補強材B等は外して描いています。

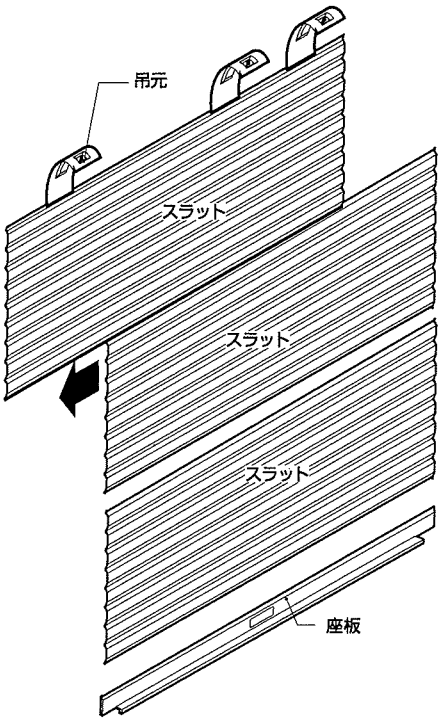


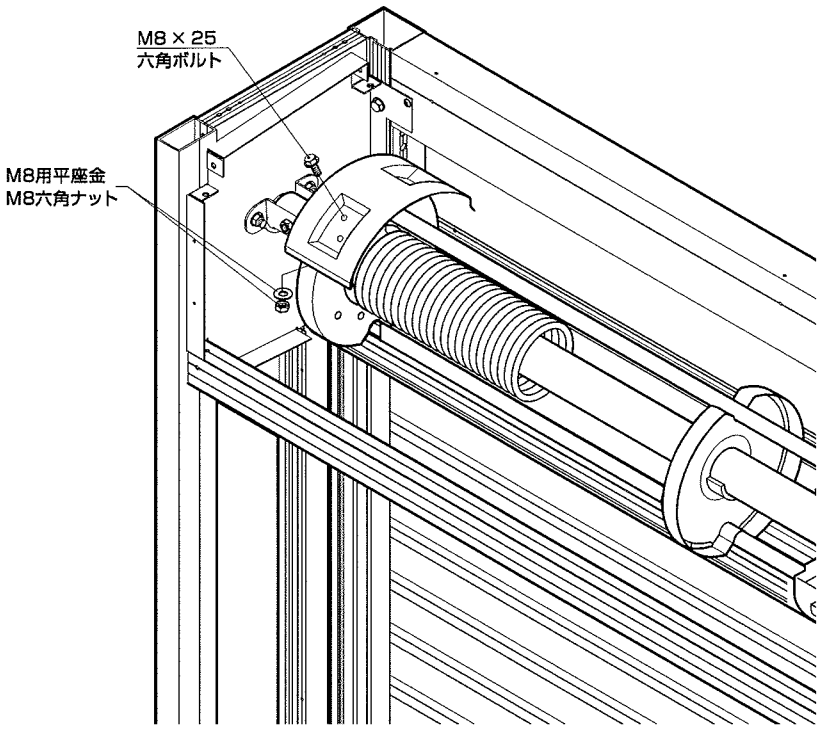
1−3 シャッターカーテンの取付け

①スラットに吊元を差し込み、ホイールに固定してください。

②残りのスラットを全て差し込み、端部をかしめてください。

③座板を差し込み、端部をかしめてください。



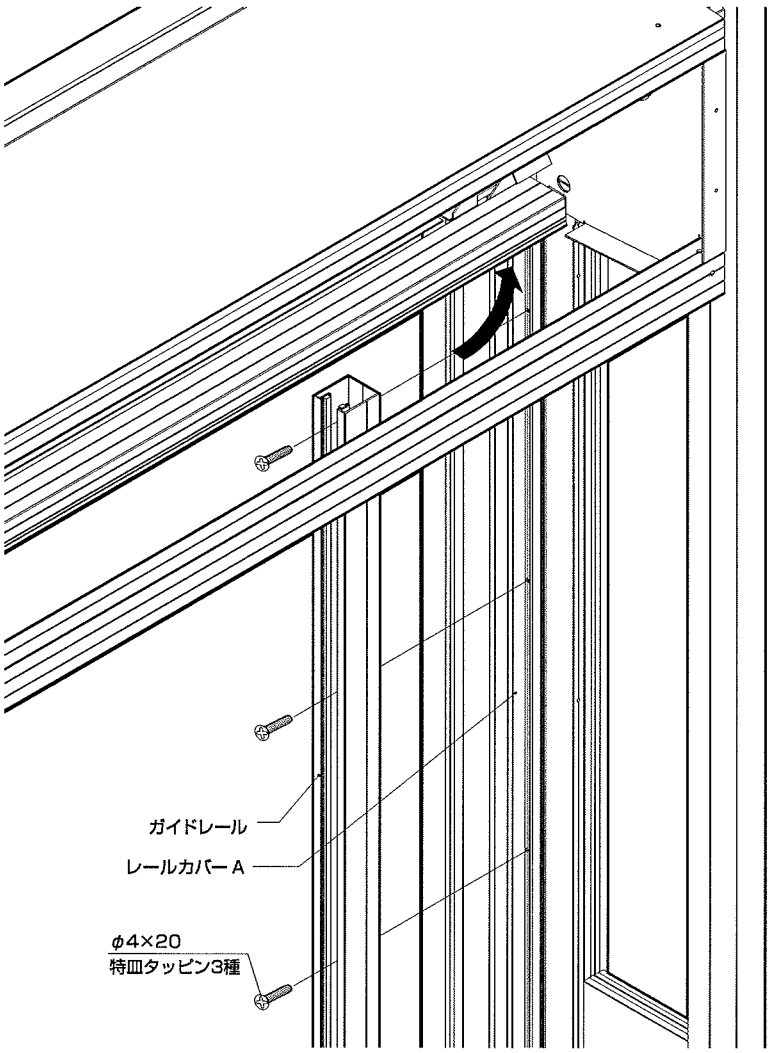


④吊元を巻取シャフトに取付けてください。

1−4 ガイドレールの取付け

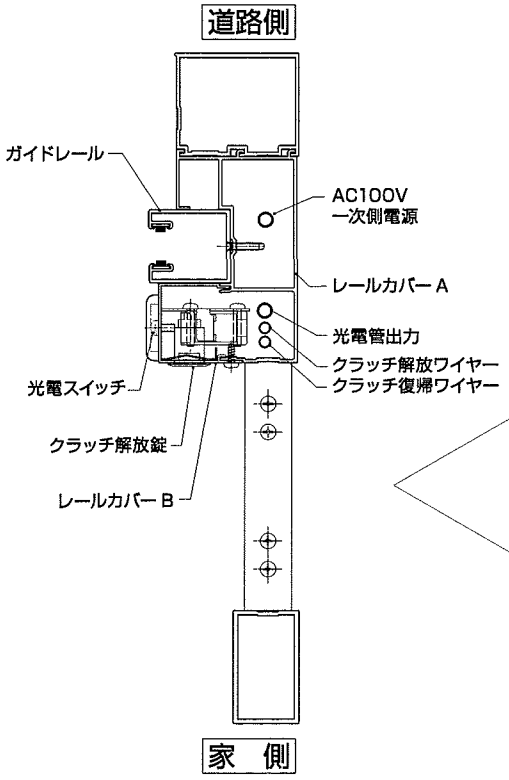
①シャッターを巻き上げた状態で取付けを行ってください。

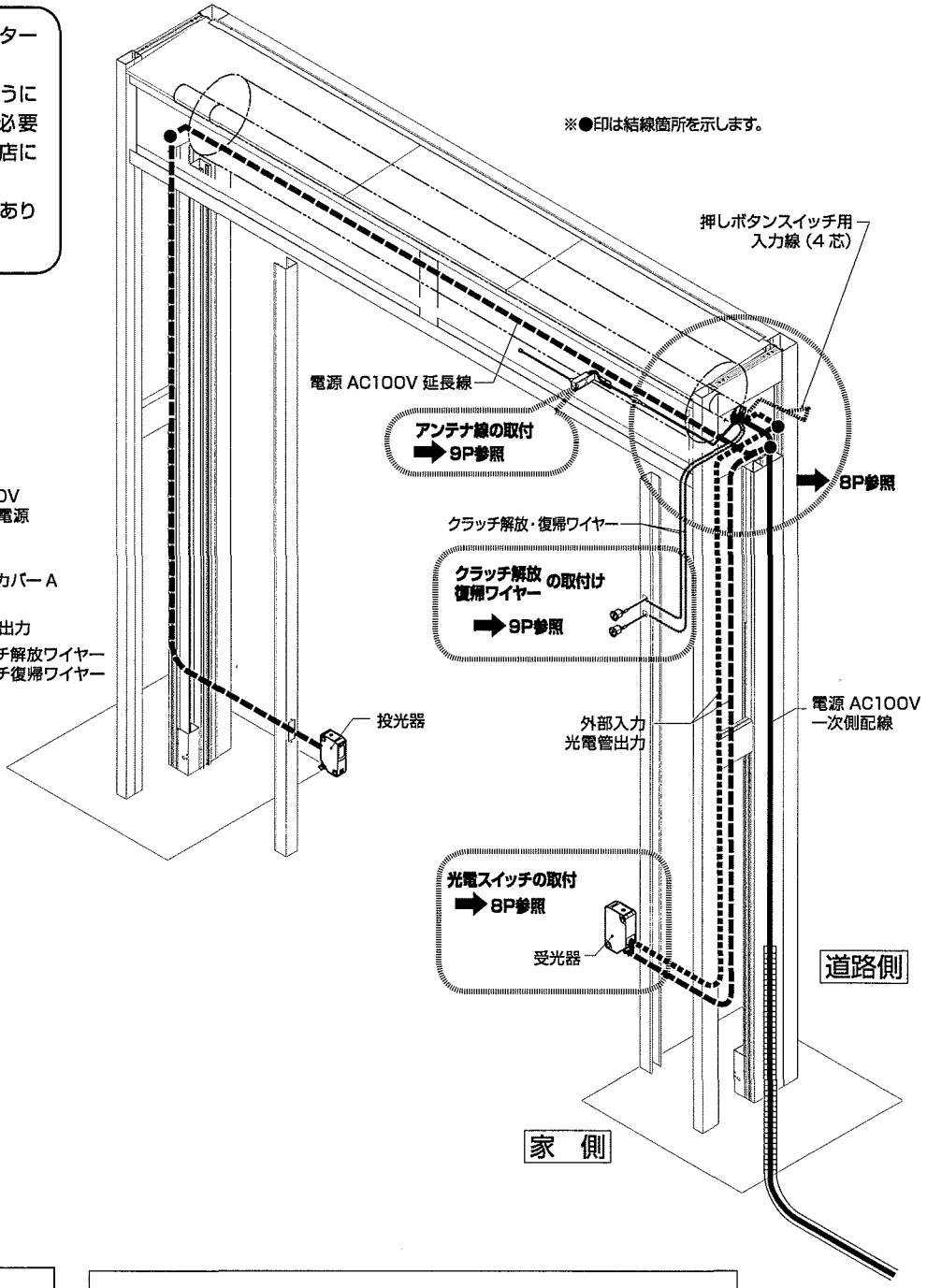
②ガイドレールをセットし、レールカバーAに固定します。



1−5 配線の概要

●配線部品一式は、シャッター工事手配となります。
●配線・電源接続などを行うには、電気工事の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご依頼ください。
※感電やショートの恐れがあり危険です。





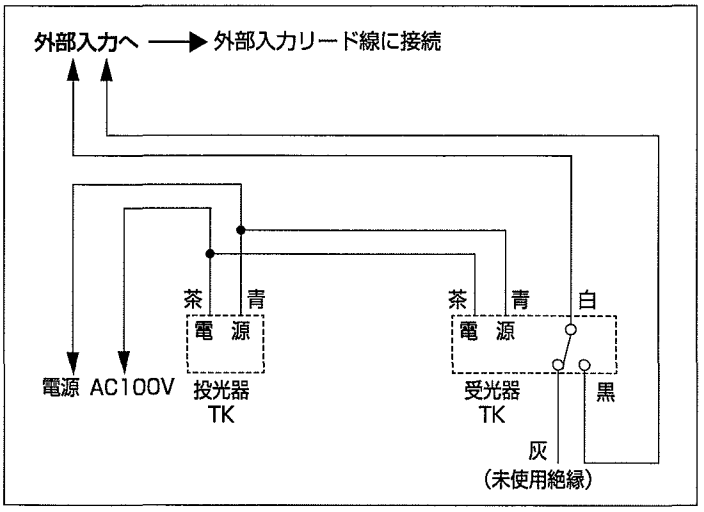
接続図

●右の接続図を参照して、結線してください。

●受光器の灰色線は使用しませんので、絶縁テープで絶縁してください。

●光電スイッチを接続しないとシャッターは正常に動作しません。ただし、リミット設定モードでの動作は可能です。

●結線時は、必ず光電スイッチ一取付キットに付属の取付説明書に従って防水処理を確実に行ってください。

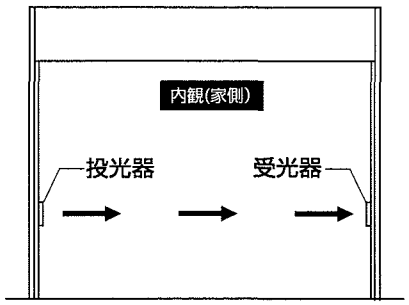


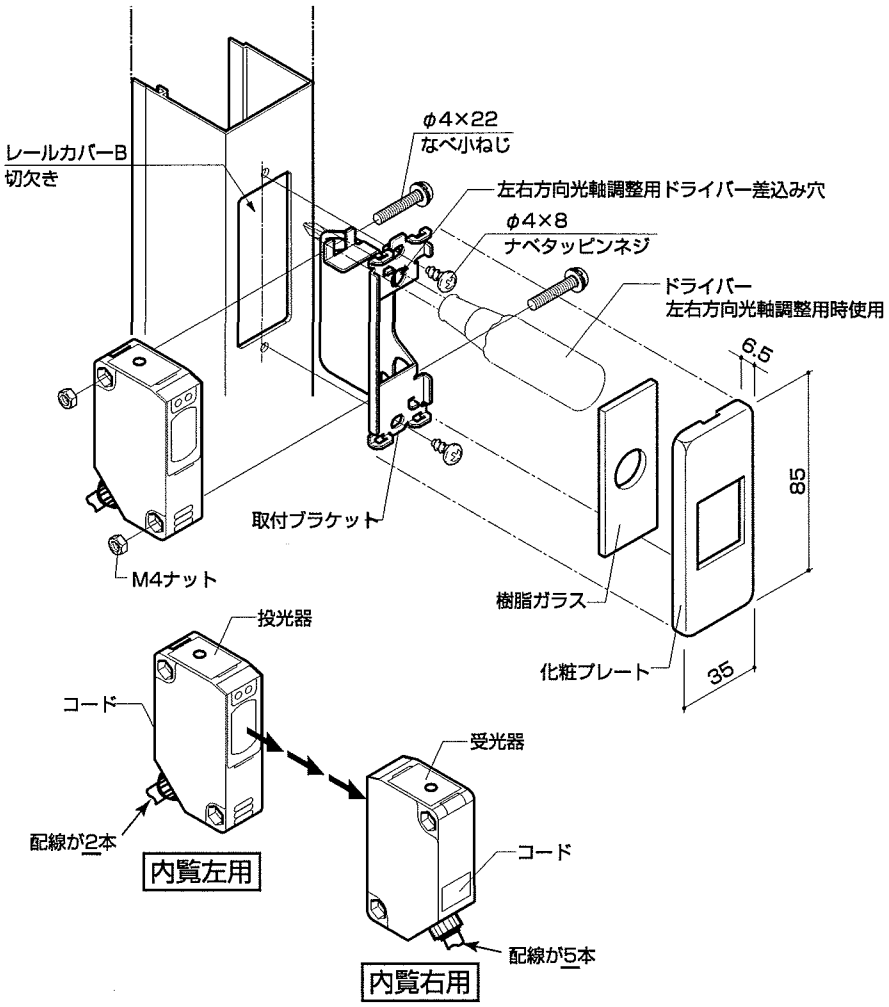
1−6 光電スイッチの取付け

①投光器・受光器を確認してください。

②投光器(又は受光器)を取付ブラケットにネジ止めし、レール切欠き部にナベタッピンネジ(3種)で固定します。

③樹脂ガラス・化粧プレートをはめ込みます。





光電スイッチは、投光器と受光器各1個が1組です。
図を参照し、投光器と受光器を間違えないように取付けてください。

⚠注意

- 結線は、必ず、光電スイッチ取付キットに付属の取付説明書に従って行ってください。
- 防水処理を確実に行ってください。

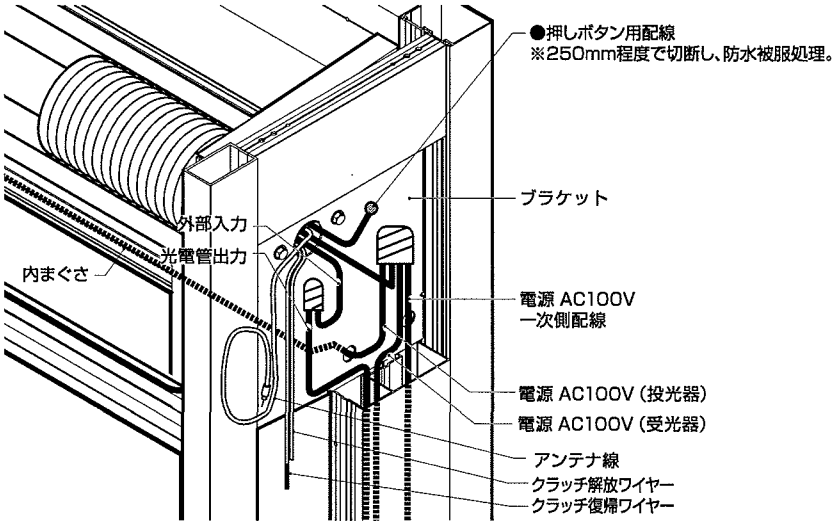
1−7 電源・光電管の接続

①投光器(2芯)を内観左に設置し、レールカバーB内を立ち上げ、ブラケット側面穴から内まぐさ内を通して　内観左ブラケット外まで配線します。

②一次側電源はレールカバーA内を立ち上げ、ブラケットの外側で配線します。

③ブラケットから出した開閉機電源と光電管電源(投光・受光)と一次側電源を接続します。

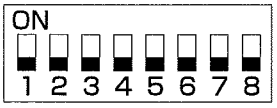
④ブラケットから出した外部入力と光電管出力を接続します。



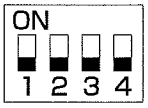
制御盤ディップスイッチ

光電スイッチを正しく接続した状態でシャッターの動作が正常でない場合は、下記設定通りになっているか確認してください。

出荷時



DSW1



DSW2

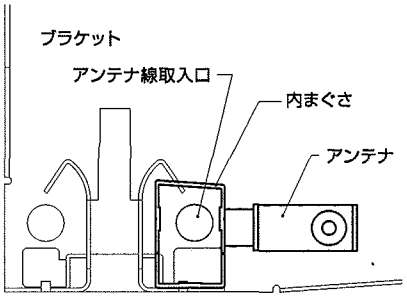
詳細は「サンオート取付説明書」を参照してください。

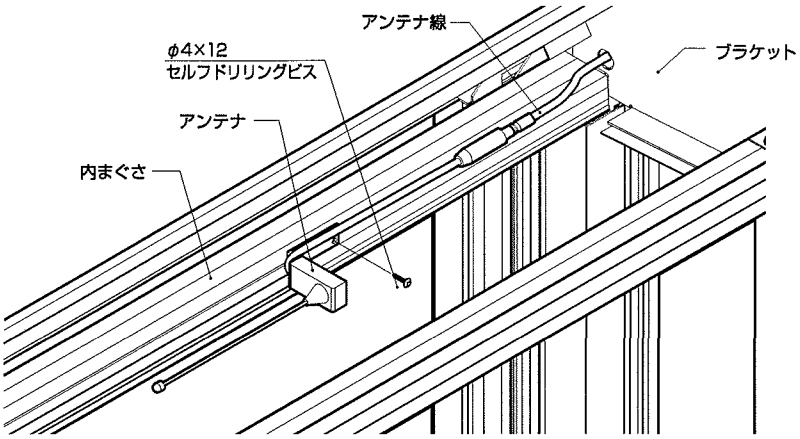
開閉機形式 :SA6CR − G

設定を変更した場合は、**必ず電源を2秒以上切るか設定スイッチを2秒以上押してください。**

1−8 アンテナ線の取付け

①アンテナ線はブラケットの内まぐさ側からケース内に入れ、内まぐさ中央付近の図の位置に取付けてください。





1−9 クラッチ解放・復帰ワイヤーの取付け

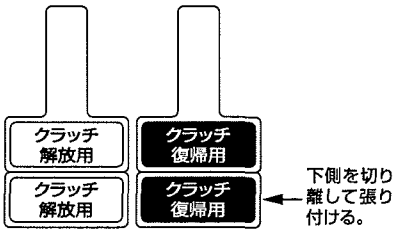
①クラッチ復帰ワイヤー(先端赤色マーキング付き)とクラッチ解放ワイヤーをレールカバーB内に通します。

「解放」・「復帰」は、ワイヤー先端のマーキングの有無で区別してください。

※「復帰ワイヤー」には、先端に赤色のマーキングがあります。

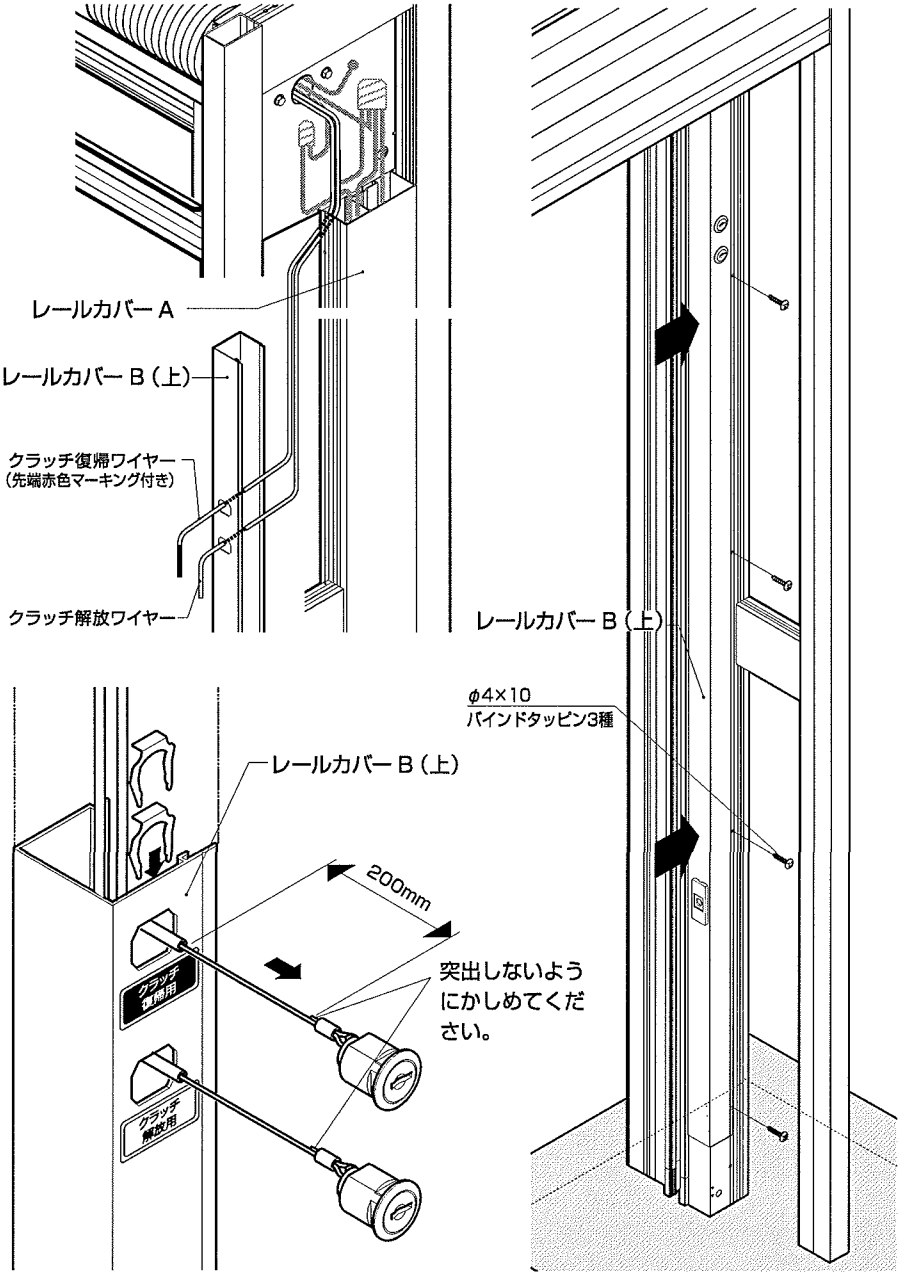
②クラッチ復帰ワイヤー(先端赤色マーキング付)をガイド側のシリンダの穴に通してスリーブでかしめます。
クラッチ解放ワイヤーを配線プレート側のシリンダの穴に通してスリーブでかしめます。
このとき、ワイヤストロークは200mm以上確保してください。

③クラッチ操作シールの下側を切り離し、各錠の下側に張り付けてください。



④すべてのチェック完了後、レールカバーBを本固定してください。

●キーは、お施主様に渡してください。



1−10 シャッターの調整

※結線完了後下記の動作確認調整を行ってください。

①クラッチ解放錠の操作

②手動でのバランス状態

③リミットの設定・調整

④光電スイッチの検知

⑤負荷検知の感度

1−11 ケース類の取付け

①ケース材をブラケットとケース後板補強材に上から順に取付けてください。

②ケース下枠をケース材に引っ掛け、ケース補強材Cに取付けてください。

③ケース下板組立をケース下枠に引っ掛け内まぐさに取付けてください。

⑦サイドカバーをブラケット側面に嵌め込み、下側2ヶ所の穴のみ固定してください。

⑧柱キャップを被せ上面2ヶ所を固定してください。

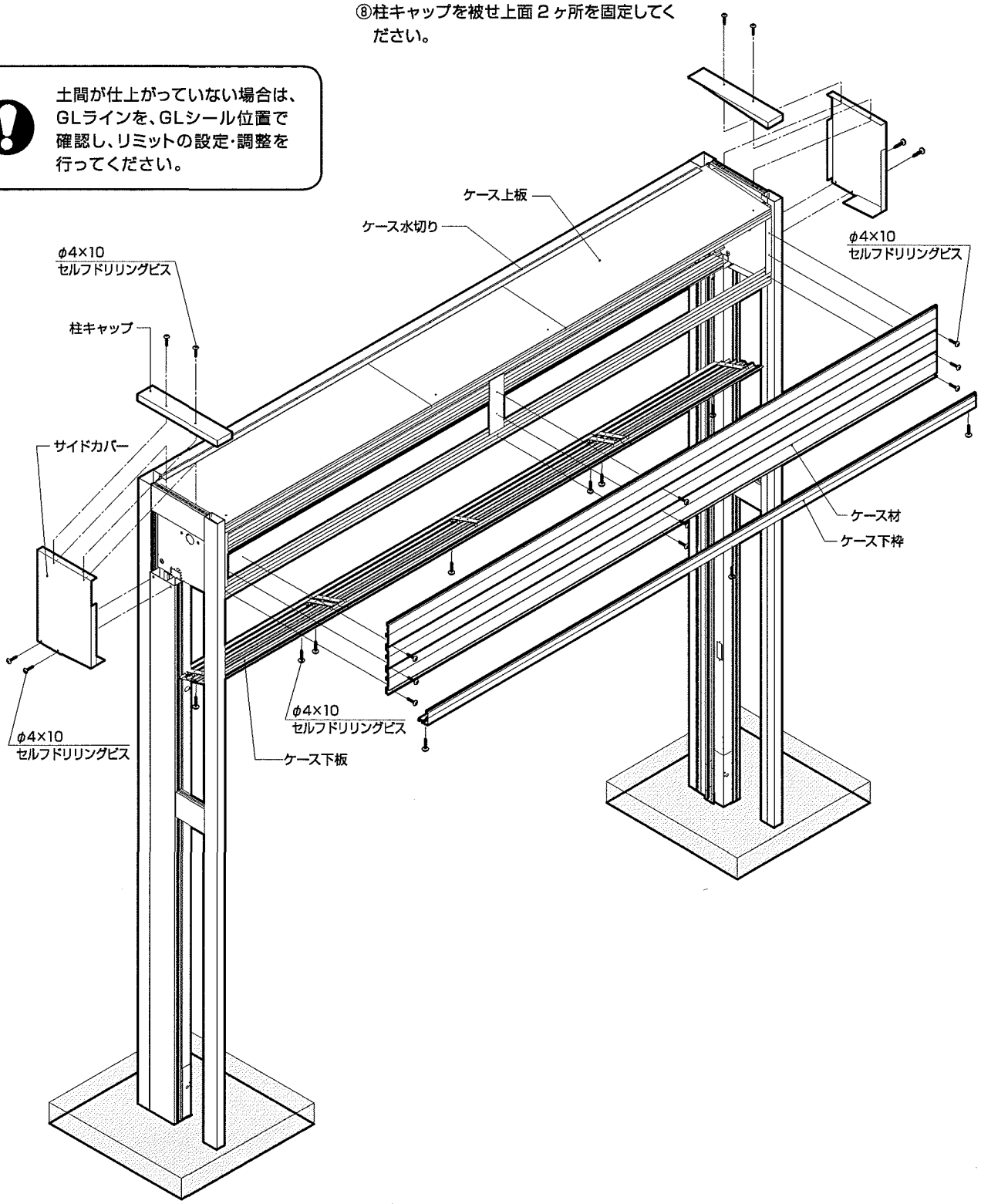
※ケース上板も外した場合下記手順で取り付けてください。

④長い方のケース上板を柱側だけ固定し取付けてください。

⑤短いケース上板は、最後に中央振り分けで先に取付けたケース板に乗せ、4ヶ所固定してください。

⑥ケース水切りを上枠に固定してください。

土間が仕上がっていない場合は、GLラインを、GLシール位置で確認し、リミットの設定・調整を行ってください。



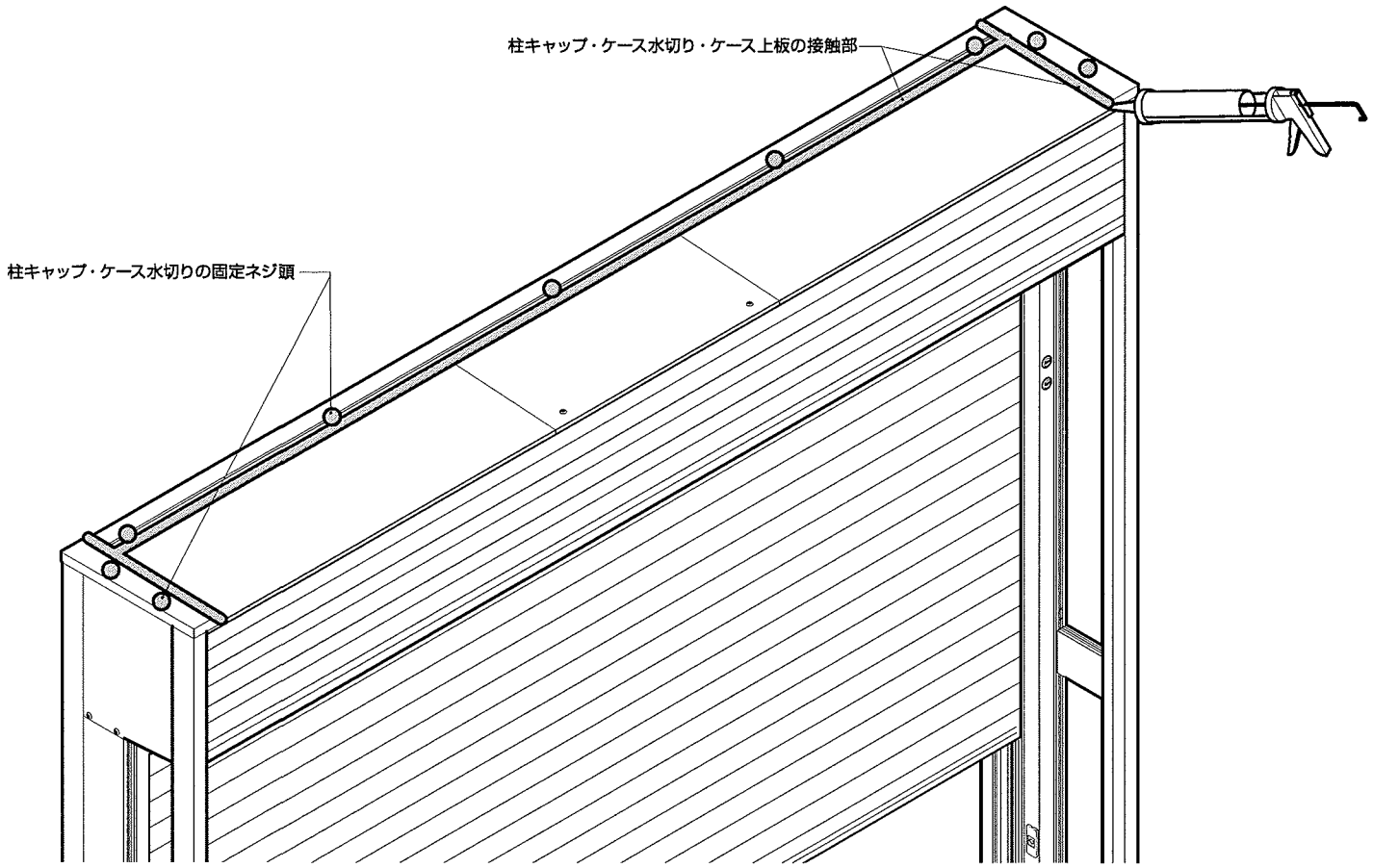
1−12 コーキングの処理

●施工完了後、下記部分を防水処理（コーキング）してください。

●柱キャップ・ケース水切り・ケース上板の接触部

●柱キャップ・ケース水切りの固定ネジ頭

コーキングはクリア色を使用してください。



施工後の確認

●動作が正常かどうか確認を行ってください。
●傷の有無の確認を行ってください。もし傷がある場合は、販売店・工事店様に連絡してください。